

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書

ファイバーチャネルカード活性保守後のファームウェア / ブートコードアップデートについて説明します。
尚、活性保守の手順については、「運用管理マニュアル(C122-E108)」に記載の下記章を参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/manual/1000.html>

- 6章 Red Hat Enterprise Linux6 における PCI カードの活性保守
- 7章 Windows における PCI カードの活性保守

01 版 2015 年 10 月

本書について

本書は、PRIMEQUEST1000 シリーズにおける Emulex ファイバーチャネルカード活性保守後の Firmware/Boot Code アップデートについて説明しています。ファイバーチャネルカード活性保守交換作業後、本書に従って作業をお願いします。

注意

ファイバーチャネルカードを交換した際、Firmware および Boot Code 版数について、交換前に使用していた版数に合わせることを、本書では“現行版合わせ”と呼んでいます。

現行版合わせでは、複数枚搭載の場合、交換したカードの Firmware/Boot Code 版数を交換していない既存カードの版数に合せます。そのため非交換カードの Firmware/Boot Code 版数を確認します。

1 枚搭載の場合は、システム管理者に版数を確認し、その版数を適用してください。版数が不明の場合は、最新版数を適用してください。

本書では、最新版の版数を適用する手順を記載していますが現行版合わせする際は、対象の Firmware/Boot Code 版数に読み替えて作業を行ってください。

対象カード

- 1) MC-0JFC11/1L(CA07253-K201)
- 2) MC-0JFC21/2L(CA07253-K301)

対象ファームウェア

提供時期	Firmware Revision	Boot Code Revision	修正内容
初回出荷~	1.11A5	5.03A4	-
2012/07	2.00A4	5.12A2	・UEFI 対応 ・VMware5.0 サポート ・各種マイナー修正
2013/01	2.01A4	6.30A1	・Windows Server 2012 サポート ・UEFI FC Utility BIOS でハングする場合があった不具合を修正 ・各種マイナー修正
2013/10	2.01A10	6.30A1	・多数 I/O を同時に高速処理するための基本機能が期待通りの動作でなかった不具合を修正
2014/4	2.01A12	6.30A9	・Windows Server 2012 R2 サポート ・VMware ESXi 5.5 サポート ・各種マイナー修正

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書

本ツールが対象とする Firmware/Boot Code 版数

対象カード	Firmware Revision	Boot Code Revision	適用するファームウェアファイル
MC-0JFC11/1L	1.11A5	5.03A4	of111a5.all / op503a4.prg
	2.00A4	5.12A2	of200a4.all / op512a2.prg
	2.01A4	6.30A1	of201a4.all / op630a1.prg
	2.01A10	6.30A1	of201a10.all / op630a1.prg
	2.01A12	6.30A9	of201a12.all / op630a9.prg

対象カード	Firmware Revision	Boot Code Revision	適用するファームウェアファイル
MC-0JFC21/2L	1.11A5	5.03A4	ud111a5.all / uu503a4.prg
	2.00A4	5.12A2	ud200a4.all / uu512a2.prg
	2.01A4	6.30A1	ud201a4.all / uu630a1.prg
	2.01A10	6.30A1	ud201a10.all / uu630a1.prg
	2.01A12	6.30A9	ud201a12.all / uu630a9.prg

重要

- ▶ SAN ブートパスのファイバーチャネルカードは活性保守に対応していません。
- ▶ 活性保守後のファームウェア/ブートコードアップデートは、データパスのみ実施可能です。

POINT

- ▶ ファイバーチャネルのファームウェア/ブートコード確認およびアップデートは、OneCommand Manager(以降 OCManger)で実施します。OCManager が適用されていない場合は、以下からダウンロードしてインストールを実施してください。

Windows 版 : http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/download/1000/#wise_fc

RHEL 版 : http://jp.fujitsu.com/platform/server/primequest/download/1000/#livm_fc

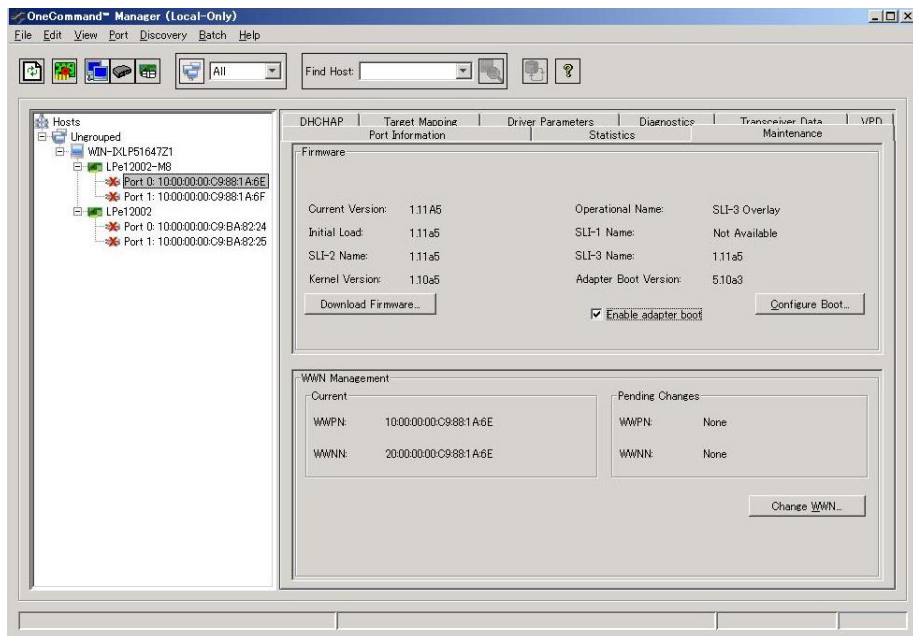
- ▶ ご利用の OS に合った手順に従いファームウェア/ブートコードをアップデートしてください。
- ▶ ファームウェア/ブートコードのアップデートはポート単位で実施してください。

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書

【Windows の場合】

ダウンロードした圧縮ファイル内にファームウェアのモジュールが含まれていますので、以下フォルダ内にディレクトリ毎コピーします。

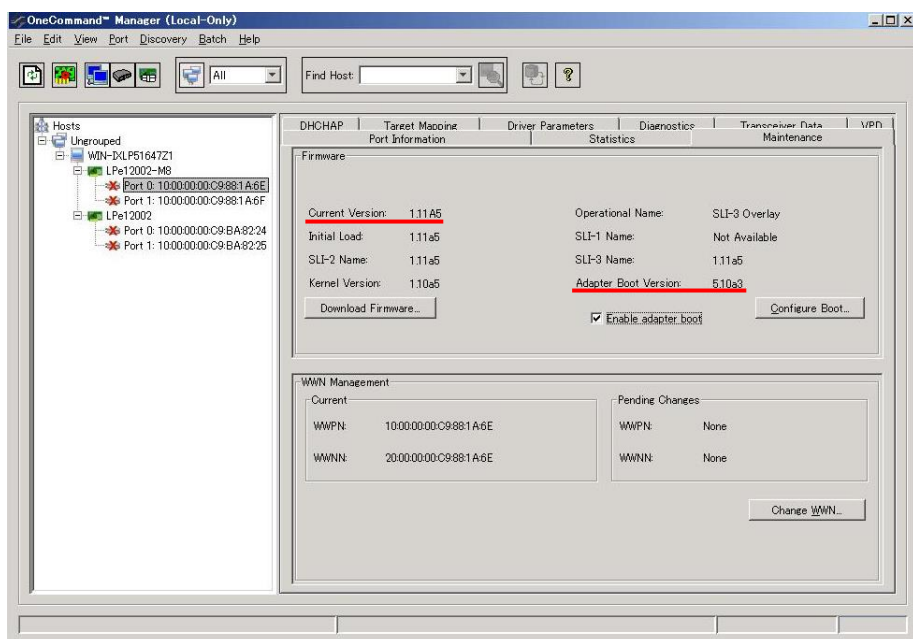
¥Program Files¥Emulex¥Util¥OCManager



1. OCManager ユーティリティを起動します。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Emulex」→「OCManager」の順にクリックします。

活性交換した対象カードのチャンネルポートを選択し、「Maintenance」タブをクリックします。



2. ファームウェア/ブートコードを確認します。

ファームウェア版数は、「Firmware」内の「Current Version:」の値を確認します。

ブートコード版数は、「Firmware」内の「Adapter Boot Version:」の値を確認します。

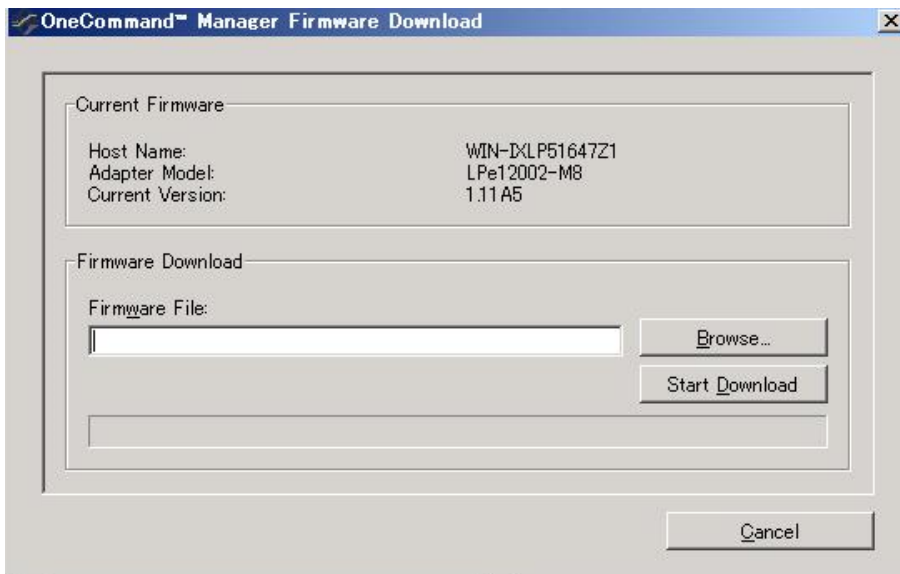
左記例では、

ファームウェア版数: 1.11A5

ブートコード版数: 5.10A3

となります。

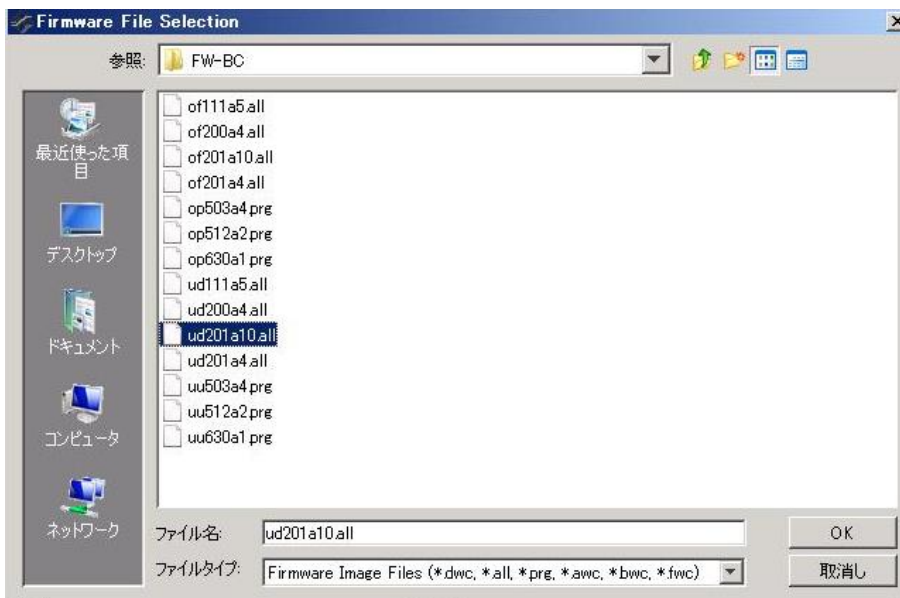
ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



3. ファームウェア/ブートコードのアップデートを実施します。

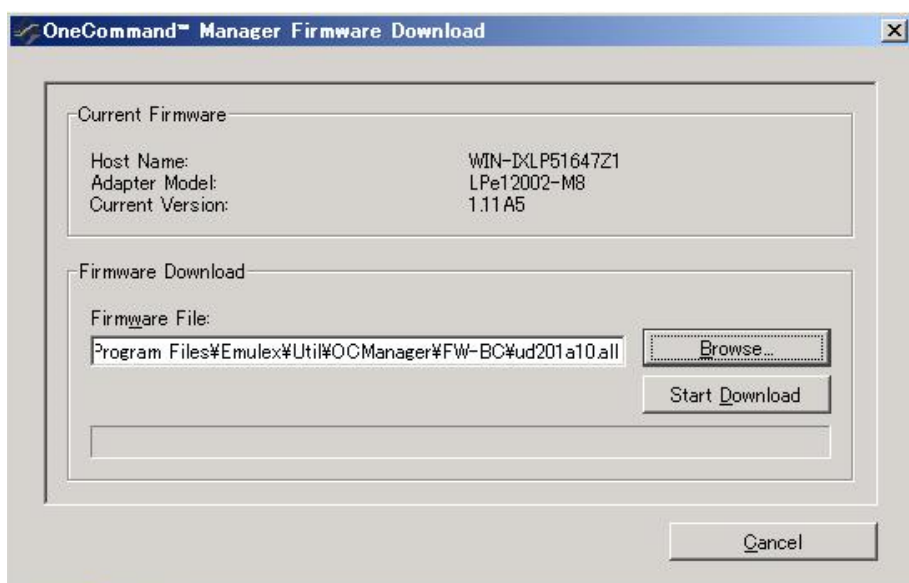
ファームウェアのアップデートは、「Firmware」内の[Download Firmware]をクリックします。

[Browse...]をクリックし事前にコピーしたファームウェア・ブートコードのフォルダを選択します。



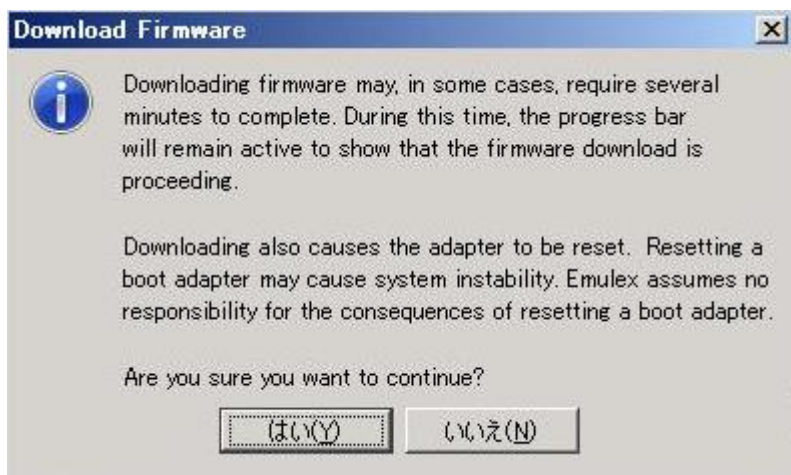
アップデートしたい版数を選択し OK をクリックします。

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書

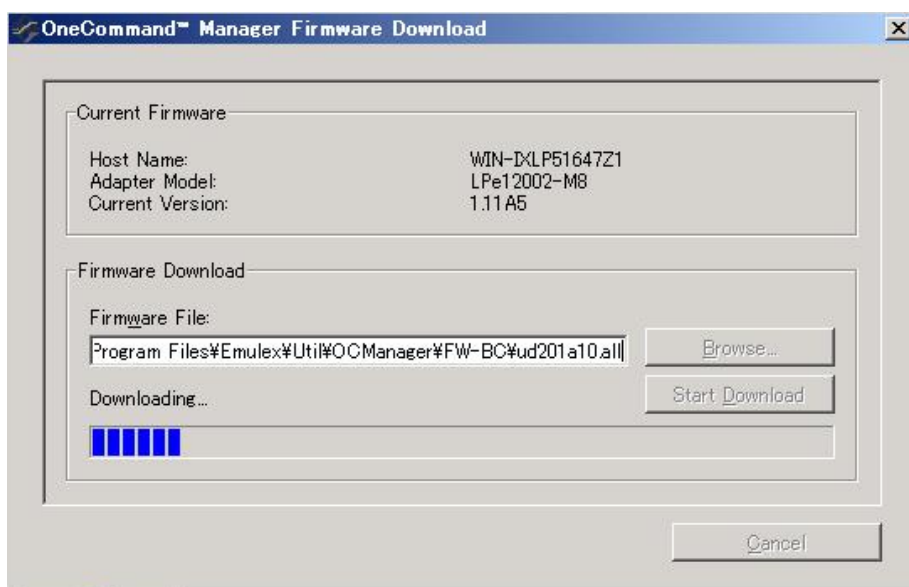


「Firmware File:」に選択したフォルダ階層とファームウェアのファイル名が記録されます。

上記を確認したら、[Start Download]をクリックします。



次のメッセージが表示されたら、[はい(Y)]をクリックします。

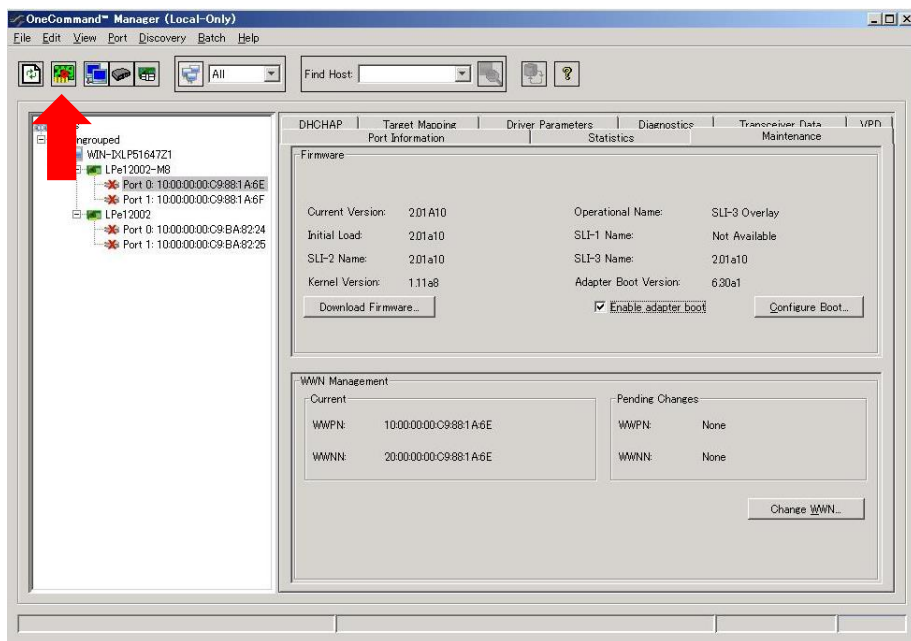


ファームウェアのアップデートを開始します。

“Completed”と表示されたらアップデートは完了です。

ファームウェアと同じ手順でブートコードのアップデートを行います。

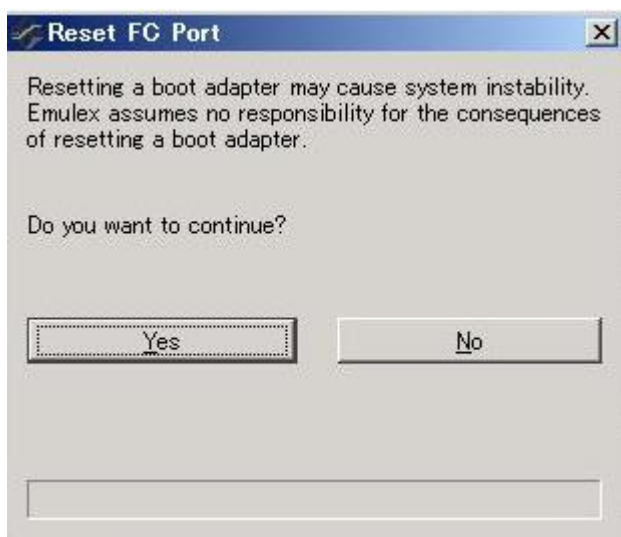
ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



4. ファームウェア・ブートコードを実施したポートのリセットを実施します。

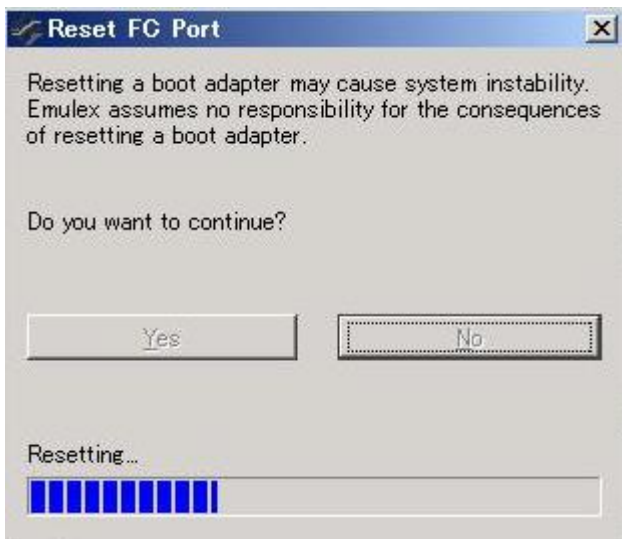
アップデートしたファームウェア・ブートコードを有効化するため、ポートのリセットを行います。

右上のポートリセットアイコンをクリックします。

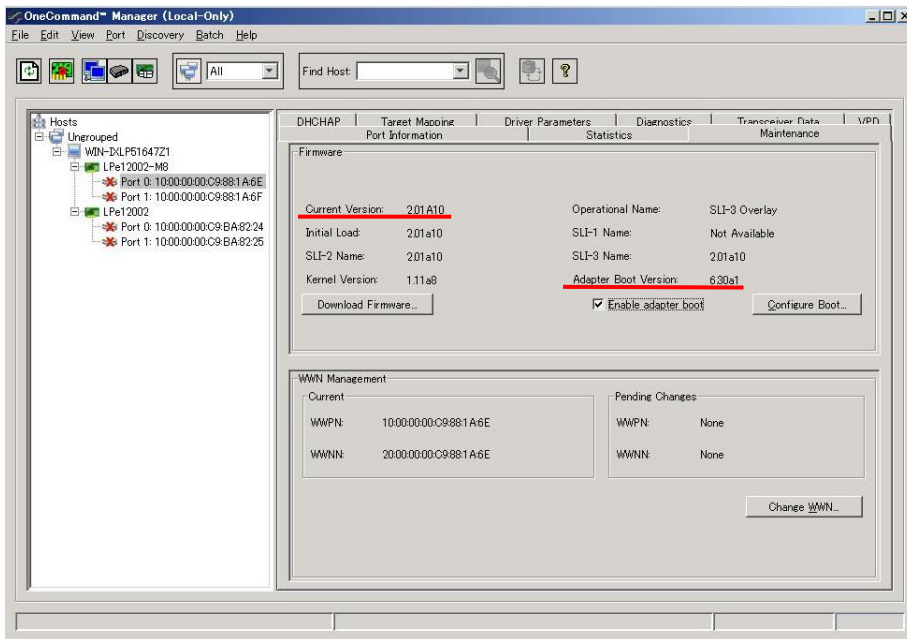


確認のメッセージが表示されますので、[Yes]をクリックします。

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



ポートのリセットを開始します。



5. アップデート後のファームウェア/ブートコードを確認します。

ファームウェア版数は、「Firmware」内の「Current Version:」の値を確認します。

ブートコード版数は、「Firmware」内の「Adapter Boot Version:」の値を確認します。

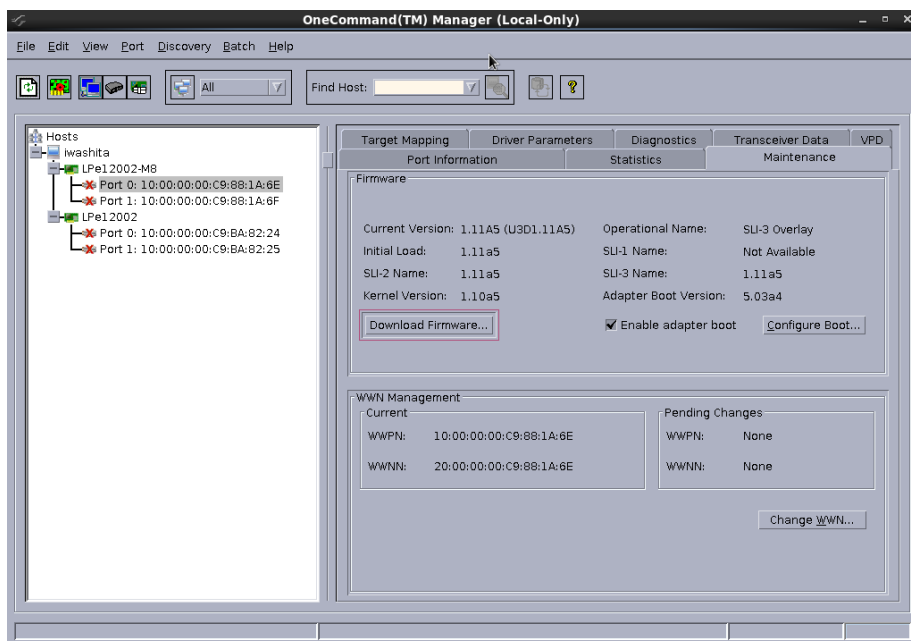
アップデート後の版数は、
ファームウェア版数: 2.01A12
ブートコード版数: 6.30A9
となります。

※画面は例ですので版数は読替えて作業実施願います。

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書

【RHEL の場合】

ダウンロードした圧縮ファイル内にファームウェアのモジュールが含まれていますので、以下フォルダ内にコピーします。
/usr/sbin/ocmanager/RMRepository

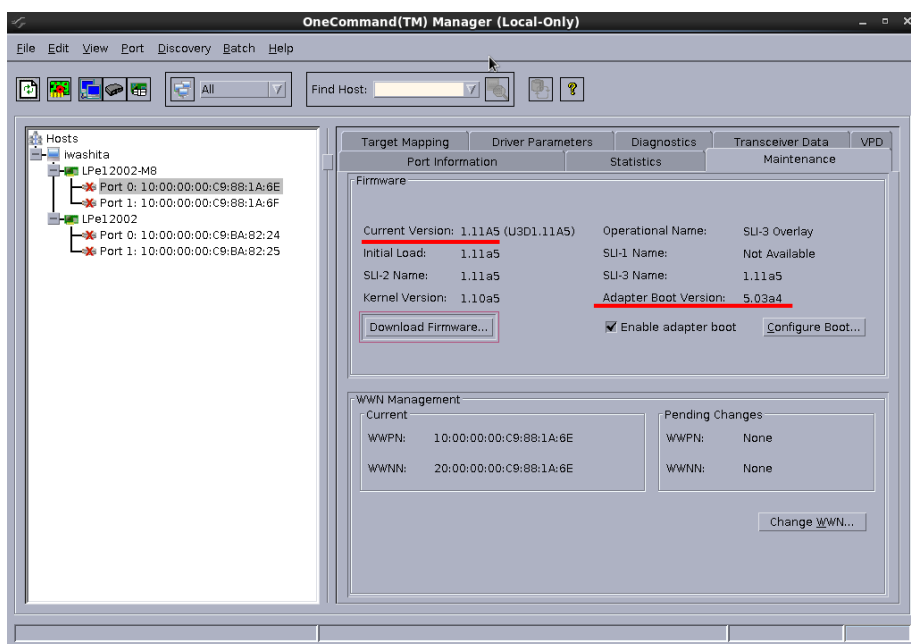


1. OCManger ユーティリティを起動します。

ターミナルソフトから以下のフォルダに移動し、OCManager を起動します。

```
#cd /usr/sbin/ocmanager <Enter>  
#./ocmanager
```

活性交換した対象カードのチャネルポートを選択し、「Maintenance」タブをクリックします。



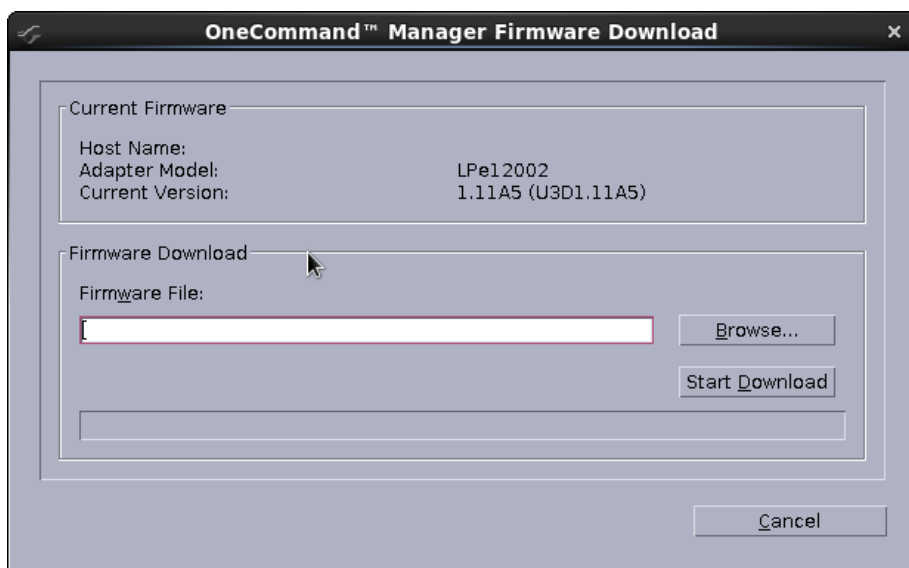
2. ファームウェア/ブートコードを確認します。

ファームウェア版数は、「Firmware」内の「Current Version:」の値を確認します。

ブートコード版数は、「Firmware」内の「Adapter Boot Version:」の値を確認します。

左記例では、
ファームウェア版数: 1.11A5
ブートコード版数: 5.03A4
となります。

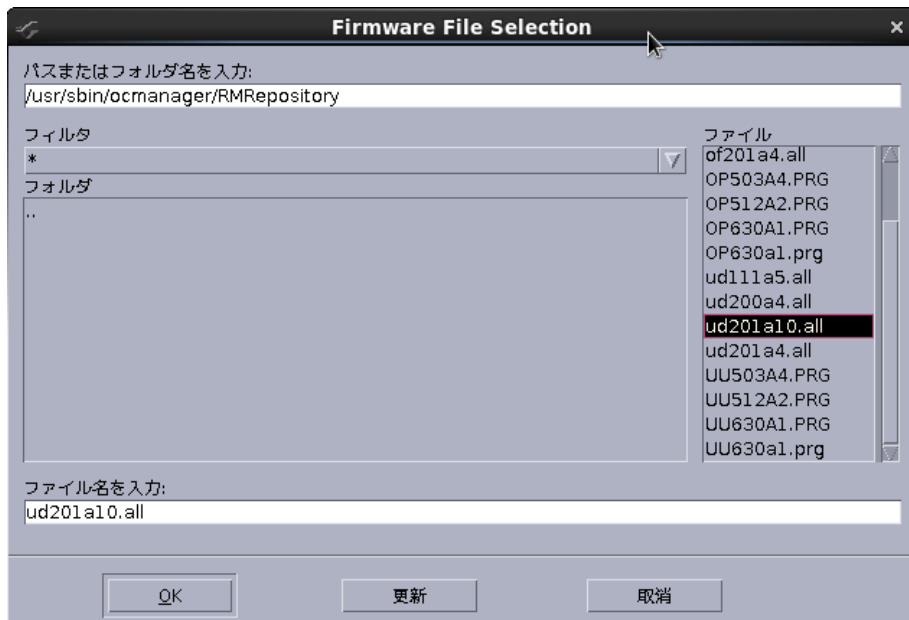
ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



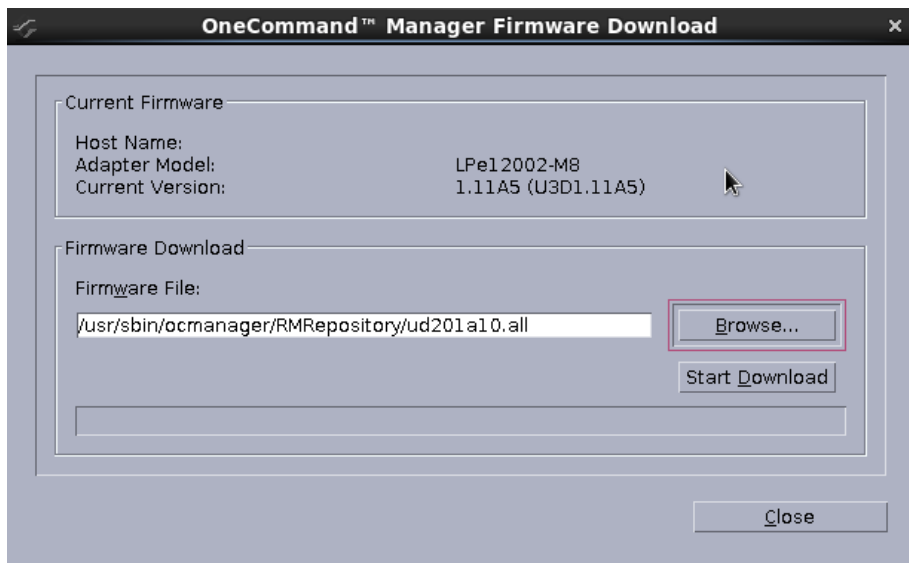
3. ファームウェア/ブートコードのアップデートを実施します。

ファームウェアのアップデートは、「Firmware」内の[Download Firmware]をクリックします。

[Browse...]をクリックし事前にコピーしたファームウェア・ブートコードのフォルダを選択します。



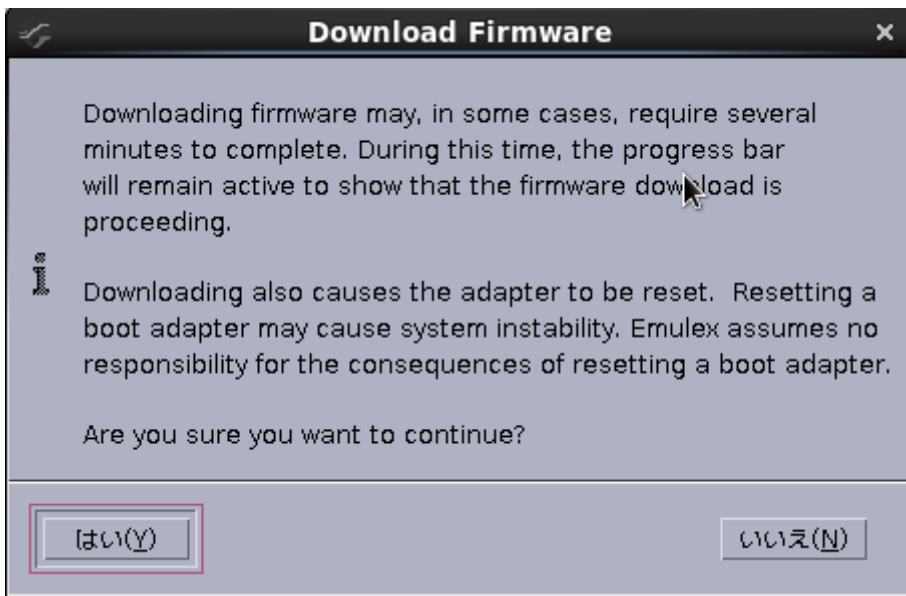
アップデートしたい版数を選択し OK をクリックします。



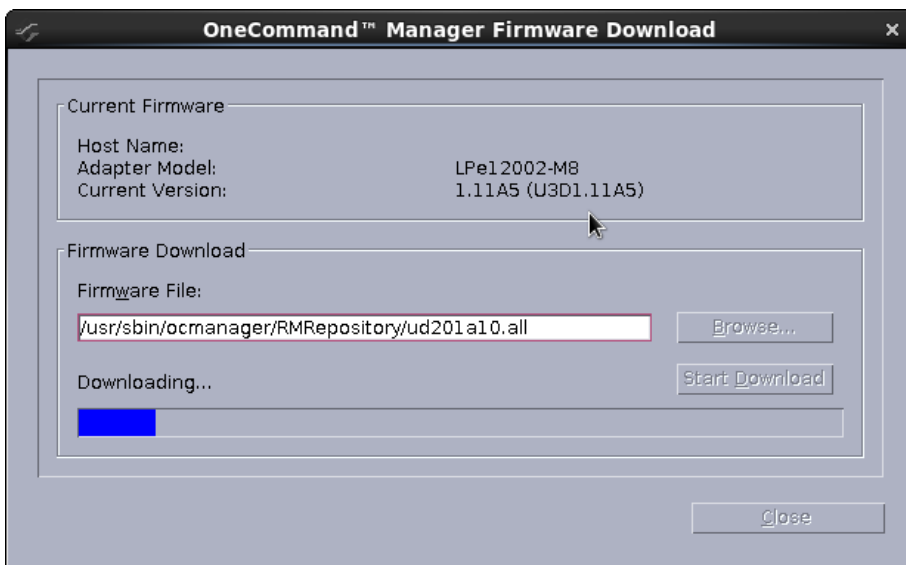
「Firmware File:」に選択したフォルダ階層とファームウェアのファイル名が記録されます。

上記を確認したら、[Start Download]をクリックします。

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



次のメッセージが表示されたら、[はい(Y)]をクリックします。

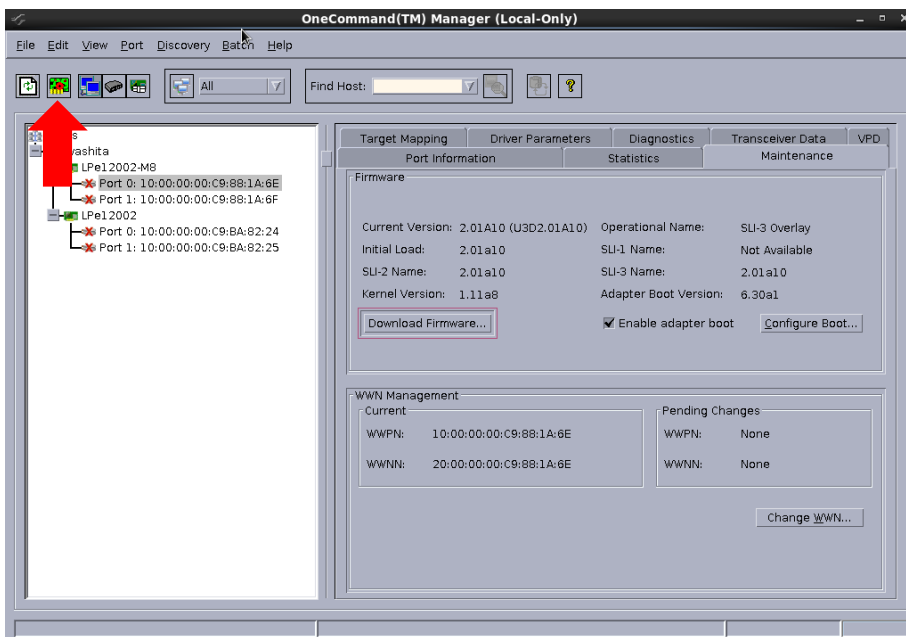


ファームウェアのアップデートを開始します。

“Completed”と表示されたらアップデートは完了です。

ファームウェアと同じ手順でブートコードのアップデートを行います。

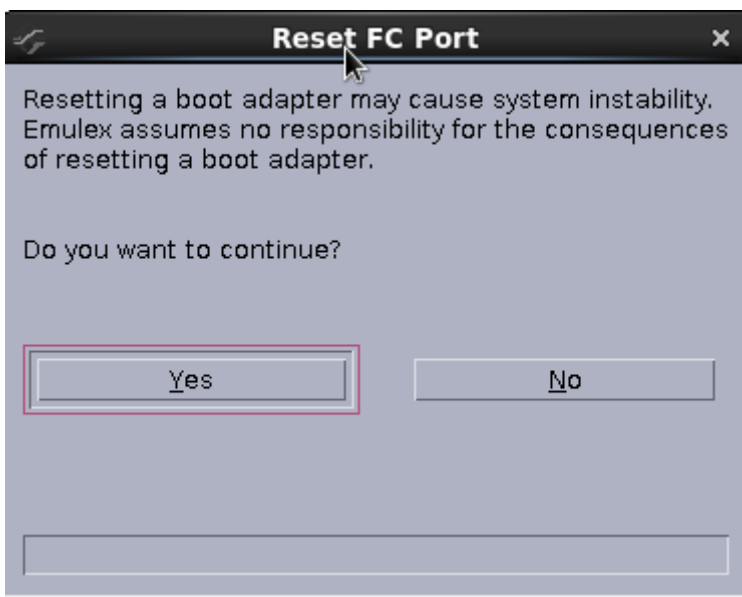
ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



4. ファームウェア・ブートコードを実施したポートのリセットを実施します。

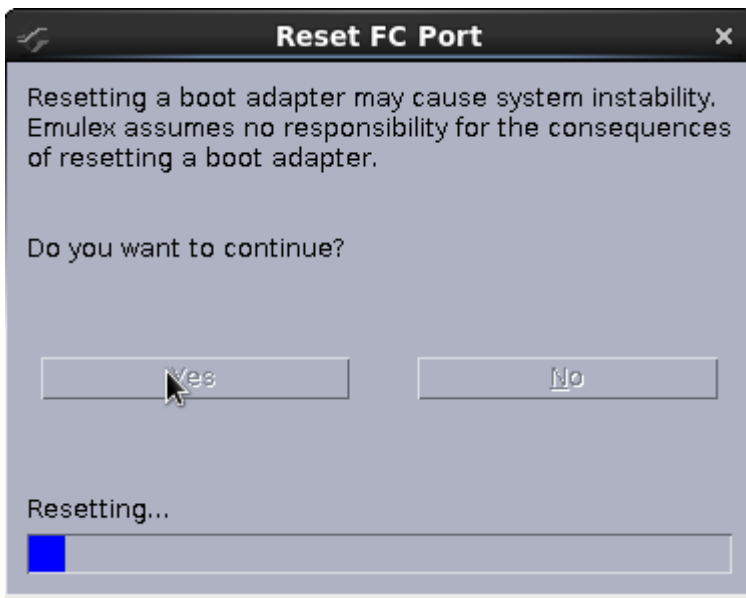
アップデートしたファームウェア・ブートコードを有効化するため、ポートのリセットを行います。

右上のポートリセットアイコンをクリックします。

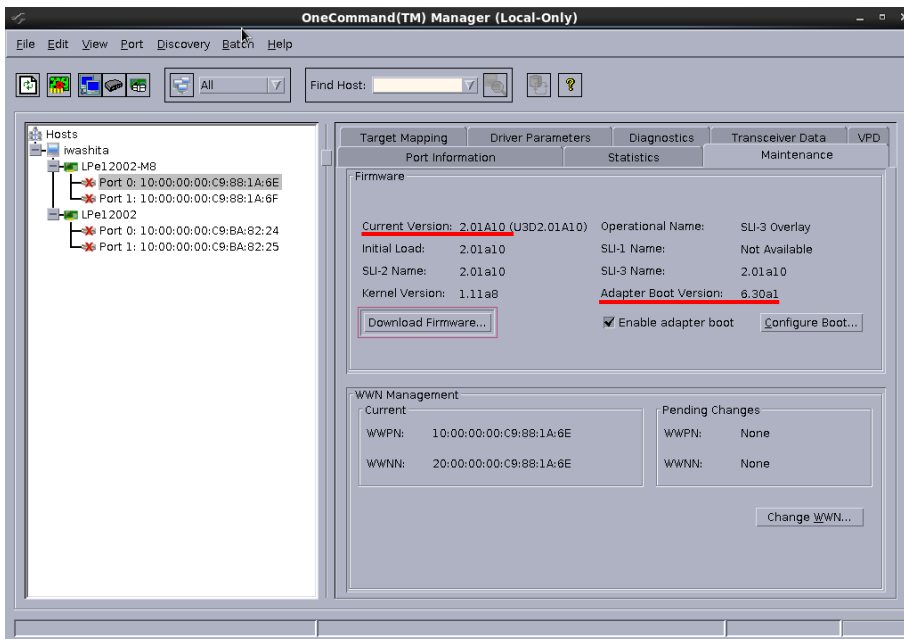


確認のメッセージが表示されますので、[Yes]をクリックします。

ファイバーチャネルカード 活性保守後の ファームウェア / ブートコード アップデート手順書



ポートのリセットを開始します。



5. アップデート後のファームウェア/ブートコードを確認します。

ファームウェア版数は、「Firmware」内の「Current Version:」の値を確認します。

ブートコード版数は、「Firmware」内の「Adapter Boot Version:」の値を確認します。

アップデート後の版数は、
ファームウェア版数:2.01A12
ブートコード版数:6.30A9
となります。

※画面は例ですので版数は読替えて作業実施願います。